

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇2023年度教育予算案の概要(続き)

◇2022年度専門部交渉 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人:西村恭介 編集:兵高教書記局

12/23 2023 年度政府予算案閣議決定

= 文教関係予算 4兆146億円、前年度比 82億円増にとどまる =

12月23日、2023年度政府予算案が閣議決定されました。文科省が概算要求で求めた教職員定数改善5158人は実現せず、4808人に留まりました。教職員定数の自然減等や配置の見直しで6482人の減をふまえると、来年度も実質の教職員定数は大幅な減となっています。

閣議決定した2023年度政府予算案は、防衛関係費が6兆8219億円(1兆4214億円増、27%以上の大幅増で過去最大)と大きく膨らみ、一般会計総額は11兆3812億円と22年度当初予算比で6.3%増え、11年連続で過去最大を更新しました。一方、文部科学関係予算は、5兆2941億円と前年度当初予算比で0.2%増にとどまっています。子ども関連予算の倍増についての財政論も先送りされており、教育や「こどもまんなか社会」を推進するための予算確保には至っていません。

政府予算案における教職員定数の改善については、教職員定数の自然減等や配置の見直しで6482人が減少するのに対し、教職員定数の改善が4808人と来年度も実質の教職員定数は大幅な減となっており、人の配置を求める多くの学校現場の声を反映したものではありません。また、小学校高学年における教科担任制は、要求どおりの950人となりましたが、教材研究の時間の確保や持ちこま数の大幅な軽減につながる改善数ではなく、不十分な内容です。さらに、少数職種の加配等を含め要求した人数が減じられていることにより、子どもが減じられていることにより、子どもがゆたかな学びの保障、教職員の働き方改革の推進には程遠い状況です。

「補習等のための指導員等派遣事業」については、教員業務支援員1万2950人(22年度当初予算比2300人増)、学習指導員1万1000人増) (22年度当初予算比2300人増) 対応にとりくむ、としています。

2023 年度教育予算案の概要

◆文教関係全体予算

4兆146億円(前年度比82億円増)

1. 教職員定数関係

教職員定数増4,808人

(1) 少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備等【3,708人】

①小学校における35人学級の推進(23年度第4学年) 3,283人
<概算要求時3,283人>

②2017年度義務標準法改正に伴う基礎定数化関連の教職員定数の増減(425人)
<概算要求時425人>

- ・通級による指導 664人
- ・日本語指導 111人
- ・初任者研修 ▲58人
- ・自然減等 ▲292人

(2) 小学校高学年における教科担任制の推進等【1,100人】

①小学校高学年における教科担任制の推進950人
<概算要求時950人>

②学校における働き方改革や複雑化・困難化する教育課題への対応【250人】(一部再掲) <概算要求時 500人>

- ・中学校における生徒指導、小中一貫・連携教育への支援160人
- ・チーム学校や学校DXの推進に向けた運営体制の強化50人(内訳 主幹教諭10人・養護教諭20人・栄養教諭10人・事務職員10人)
- ・離島や過疎地域を含む小規模校への支援20人
- ・貧困等に起因する学力課題の解消20人

2. 義務教育費国庫負担金 1兆5,216億円(+201億円)

<概算要求時1兆5,108億円>

- ・教職員定数の改善 +104億円(+4,808人)
- ・教職員定数の自然減等 ▲132億円(▲6,132人)
- ・教職員配置の見直し ▲8億円(▲350人)
- ・国庫負担金の算定方法の適正化 ▲18億円
- ・人事院勧告による給与改定等 +255億円

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

3. その他の主な教育予算

(1) 補習等のための指導員等派遣事業 (国の補助率 1/3)

①教員業務支援員の配置

12,950人 (2,300人増) 55億円 (10億円増)

<概算要求時 24,300人 (13,650人増) 103億円 (58億円増)、
22年度予算 10,650人>

②学習指導員等の配置 11,000人 (同人数) 36億円 (3億円減)

<概算要求時 18,000人 (7,000人増) 50億円 (11億円増)、
22年度予算 11,000人>

(2) 部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に
向けた環境の一体的な整備

①部活動の地域移行等に向けた実証事業 11億円

<概算要求時 90.3億円>

②中学校における部活動指導員の配置

12,552人 (1,302人増) (運動部: 10,500人、文化部: 2,052人)
14億円 (1億円増)

<概算要求時 21,000人 (9,750人増) 23.5億円 (10.5億円増)、
22年度予算 11,250人>

【補助率 1/3 (国 1/3、都道府県 1/3、市町村 1/3)】

③地域における新たなスポーツ環境の構築等 3億円

<概算要求時 3.7億円>

(3) いじめ対策・不登校児童生徒支援等の推進

(専門家を活用した教育相談体制の整備・関係機関との連携強化等)
84億円 (5億円増) (国の補助率 1/3)

①スクールカウンセラーの配置充実

・全公立小中学校への配置 (27,500校) (週 4 時間)
上記に加えた重点配置の拡充 (7,200校、週 4 時間)

②スクールソーシャルワーカーの配置充実

・全中学校区への配置 (10,000 中学校区) (週 3 時間)
上記に加えた重点配置の拡充 (9,000 校、週 3 時間)

③不登校児童生徒に対する支援の推進

・不登校特例校の設置促進 (新規)

※不登校児童生徒等へのオンラインを活用した広域的な支援体制整備
(67箇所) 【新規】

(4) 子供の心身の健康を担う養護教諭等の業務支援の充実
0.5億円 【新規】

(5) 切れ目ない支援体制構築に向けた特別支援教育の充実
(国の補助率 1/3)

・医療的ケア看護職員の配置 3,740人 (+740人)

<概算要求時 3,740人 22年度予算 3,000人>

(6) GIGA スクール運営支援センターの機能強化

10億円 補正予算 71億円 (国の補助率 1/3)

<概算要求時 102億円>

(7) 「新たな教師の学び」を支える研修体制の構築

13億円 補正予算 27億円 <概算要求時 46億円>

(8) 感染症対策の充実と学校健康教育の推進

7億円 補正予算 242億円 <6.3億円+事項要求>

4. 奨学金関係

(1) 高等学校等就学支援金等 4,128億円 (▲13億円)

(2) 高校生等奨学給付金 (奨学のための給付金) 147億円 (▲4億円)

○非課税世帯…全日制等 (第1子) の給付金の増額

(国公立+3,000円 私立+3,000円)

5. 国立大学関係

(1) 国立大学法人運営費交付金 1兆784億円 (前年比 ▲2億円)

6. 私学助成関係

(1) 私立大学等経常経費補助 2,976億円 (前年比 +1億円)

(2) 私立高等学校等経常費助成費等補助 1,029億円 (前年比+9億円)

2022年度専門部交渉

11月18日の現業職員部を皮切りに12月後半にかけて、女性部・障害児学校部・青年部・定通部がそれぞれ対県教委交渉を実施しました。事前の申入れに対する県教委からの一次回答を受けたのち、参加者から、厳しい社会情勢の下で子どもたちの学びにも様々な支障が生じていること、「学校の働き方改革」は一向に進まず、教職員は過酷な勤務を強いられ心身の余裕を失い悪循環に陥っていることなど学校現場の切実な実態を訴え、様々な提言を行い、具体的検討と改善を求めました。

兵庫の教育行政に対して、現場の生の声を伝える大変貴重な機会であり、このような交渉の積み重ねによって職場環境の改善が少しずつ進んでいます。各専門部の活動への積極的参加をお願いします。



青年部交渉(12/15)

2022年度第7回臨採者学習会
教員採用試験対策講座(7)

とき 2月4日(土) 13:30~16:30

ところ 神戸市教育会館

内容 今年度の兵庫県教員採用試験の振り返り
来年度に向けて 他

※変更点や来年度のスケジュールの確認等も行います。

★兵庫県採用試験受験予定の方はどなたでも受講できます(無料)。

初めて参加される方も大歓迎です。幅広くお声かけをお願いします。



—2023年度兵高教本部役員選挙—

■立候補受付期間 1月4日(水)~1月19日(木)

■投票期間 1月25日(水)~2月15日(水)

■支部選管に提出 2月16日(木)

■本部選管に提出 2月17日(金) 午後6時まで

■開票 2月17日(金) 午後6時半

(於 神戸市教育会館)